

矢作川のめぐみ いまむかし

～旧今井貯木場施設、明治用水旧頭首工、枝下用水～



国の重要文化財となった
旧今井貯木場施設(百々貯木場)
その活用法は

◀ 旧今井貯木場施設の樋門

開催日時：2026年3月15日（日）午後1時

会場：とよた市民活動センター 9階ホール（名鉄三河線「豊田市駅」前）

参加費：無料（当研究会員外は『講演報告資料集』/¥500 購入可）

基調講演：北河大次郎氏・文化庁 資源活用課 主任文化財調査官

講演：安藤 由真氏・豊田市 文化財課主査

▼明治用水旧頭首工、文化財的価値とは



◀ 枝下用水旧第二樋門の価値とは
活用法は

矢作川のめぐみ いまむかし

～旧今井貯木場施設、明治用水旧頭首工、枝下用水～

西三河を流れる矢作川は、舟運や木材流送をはじめ、人々がさまざまに利用して人や物資の交流の役割を果たしてきた。近代に入ると農業用水の開削、貯木場の建設、電力開発、工業の発展などと幅広く矢作川の水が利用されてきた。まさに母なる川・矢作川であり、矢作川なしに西三河地域の発展はなかった。

こうした観点から今シンポジウムでは、旧今井貯木場施設（百々貯木場）が国の重要文化財に指定されたことを機に、矢作川に建設された明治用水や枝下用水などにも焦点を当て、その歴史的意義の認識を深め地域の宝としての活用法を探ることを企図して開催する。

主 催：中部産業遺産研究会

後 援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・豊田市・豊田市教育委員会・産業遺産学会・日本産業技術史学会、
(公社)土木学会中部支部・(一社)日本機械学会・(公財)日本技術士会中部本部・名古屋工業大学ごきそ技術士会、
(一社)中部経済連合会・(公財)中部圏社会経済研究所・(一社)中部産業連盟。

■ 開催日：2026年3月15日（日）午後1時（受付開始 12:30）

■ 会 場：とよた市民活動センター（豊田市若宮町 T-FACE A 館 9 階ホール、定員 80 名）

13:00～ 開会

基調講演 北河 大次郎（文化庁資源活用課主任調査官）

「河川遺産の保存活用の全国動向について」（仮題）

14:30～

講 演 安藤 由真（豊田市文化財課主査）

「旧今井貯木場施設の重要文化財指定について」（仮題）

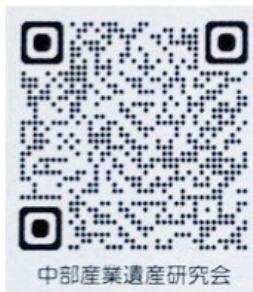
15:45～

質疑応答、意見交換

17:00 閉会

■中部産業遺産研究会ホームページ

<http://csih.sakura.ne.jp/>



【申込み方法】

・中部産業遺産研究会ホームページ（<http://csih.sakura.ne.jp/>）に開設の申込みページに入力するか、上記 QR コードから申込みください。なお、定員まで当日受付にてご参加を申し受けます。

・葉書での申込みの場合は、①氏名、②一般・学生・会員の区別、③連絡先（電話又はメールアドレス）、④所属団体（後援団体との関係など）を下記の実行委員会・申込先に郵送ください。

〒470-0213 愛知県みよし市打越町九蔵釜 93 加藤真司 宛

・申込み記載の個人情報は、当シンポジウムの運営及び緊急の連絡のみに使用します。

・「CPD 行事参加票」が必要な方はその旨を記載ください（CPD 制度を実施している技術士会などの会員で必要とされる方に配布します）。

備考：講演 報告資料集と引換にて代金¥500／冊は、当日受付にて申受けます。

【問合せ先】 なお、シンポジウム後懇親会を、研究会HPシンポジウムページで後日ご案内します。

◇シンポジウム実行委員会事務局 八田 健一郎 〒471-0825 豊田市明和町 4-5-19 TEL： 090-9222-3285

E-mail：kenhatta@hm4.aitai.ne.jp

◇中部産業遺産研究会 事務局 山田 貢 E-mail：yamada202102@gmail.com